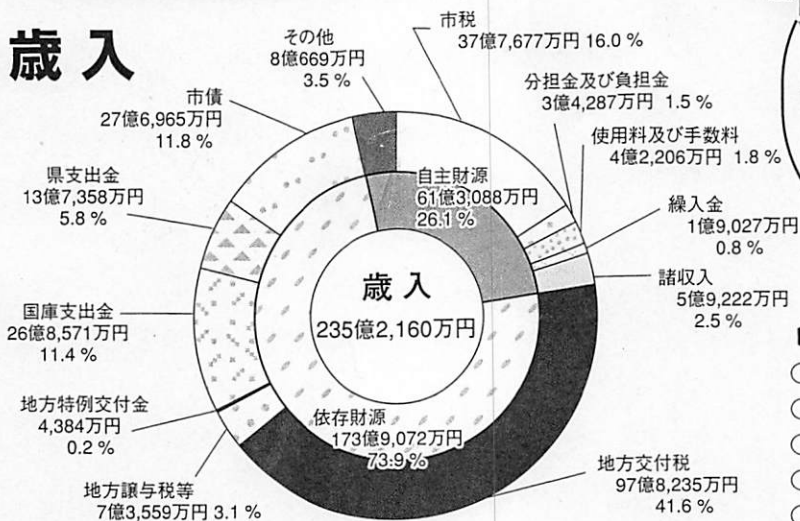
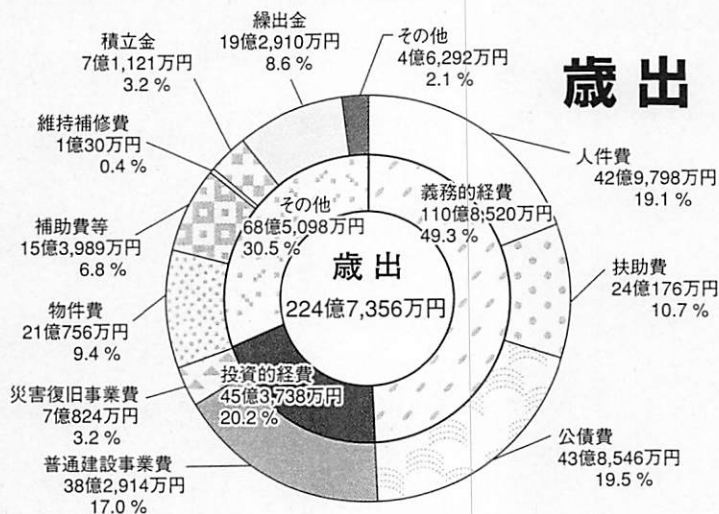


一般会計

歳入



歳出



会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	48億3,711万円	44億4,920万円	3億8,791万円
国民健康保険診療所事業	2億5,927万円	2億5,927万円	0万円
老人保健医療事業	5億8,428万円	5億8,905万円	△477万円
後期高齢者医療事業	8億7,463万円	8億6,697万円	766万円
介護保険事業	42億7,700万円	42億3,243万円	4,457万円
住宅新築資金等貸付事業	405万円	6,845万円	△6,440万円
生活排水処理事業	5,582万円	5,582万円	0万円
簡易給水施設事業	2億3,629万円	2億3,468万円	161万円
農業集落排水事業	7,532万円	7,532万円	0万円
大田市駅周辺土地区画整理事業	1億1,733万円	1億1,733万円	0万円
下水道事業	20億3,406万円	20億3,406万円	0万円

平成20年度 決算報告



〔平成20年度の主な事業〕

- 緊急経済対策事業 5,733万円
 - 大田市ケーブルテレビ施設整備事業補助金 5億7,139万円
 - 情報化推進事業 4億5,130万円
 - 地方バス路線確保対策事業 1億834万円
 - 介護給付・訓練等給付事業 5億2,735万円
 - 児童手当等 3億7,537万円
 - 保育園指定管理料(3園) 2億6,238万円
 - 新不燃物処理場施設整備基本構想策定事業 131万円
 - 病院事業会計負担金 5億7,599万円
 - 中山間地域等直接支払交付金交付事業 8,555万円
 - 仙ノ山線整備事業(農山漁村活性化支援交付金事業) 2億420万円
 - 港整備交付金事業 7,600万円
 - 産業振興プロジェクト推進事業 3,495万円
 - 道路整備事業 3億7,067万円
 - 街なみ環境整備事業 2億4,854万円
 - 街路事業・栄町高禅寺線 1億5,136万円
 - 通信指令台整備事業 1,953万円
 - 山村留学推進事業 3,591万円
 - 仁摩中学校屋体改築事業 1,266万円
 - 石見銀山遺跡総合整備活用事業 1億385万円
 - 石見銀山遺跡拠点施設整備事業 4億4,373万円
 - 県事業負担金(道路及び県営土地改良関係) 1億3,113万円
 - 公共下水道整備事業 18億8,301万円
 - 財政調整基金 28億3,438万円
 - 減債基金 6億2,599万円
 - その他特定目的基金 18億7,530万円
- 〔基金の状況※平成20年度末現在〕
- 平成20年度末現在高(一般会計) 336億792万円

監査委員の審査意見書から

一般会計の歳入

予算現額262億3,143万円に対して、調定額251億8,653万円であり、収入済額は235億2,160万円、不納欠損額6,037万円、収入未済額16億456万円の決算となっており、収入率は予算比89・7%、調定比93・4%となっている。

一般会計の歳出

支出済額224億7,356万円、執行率85・7%となり、翌年度繰越額31億9,391万円を差し引いた未済額は5億6,396万円となっている。

特別会計について

11会計の歳入総額133億5,516万円、歳出総額129億8,258万円、歳入歳出差引引きの合計形式収支額は、3億7,258万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源71万円(簡易給水施設事業)を差し引くと、実質収支額3億7,188万円の黒字となっている。

市債の状況

一般会計における当年度末の市債残高は、前年度末より、9億6,132万円減少している。特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より、2億3,091万円減少し、40億4,412万円となっている。

病院事業(大田市立病院)

患者数

- ◇入院患者数 延73,136人
(前年度比11,523人減)
- ◇外来患者数 延130,033人
(前年度比15,065人減)

収益的収支

収入は、医業収益が患者数の減少などにより約3億6,894万円の減額となり、対前年度比9.8%減。

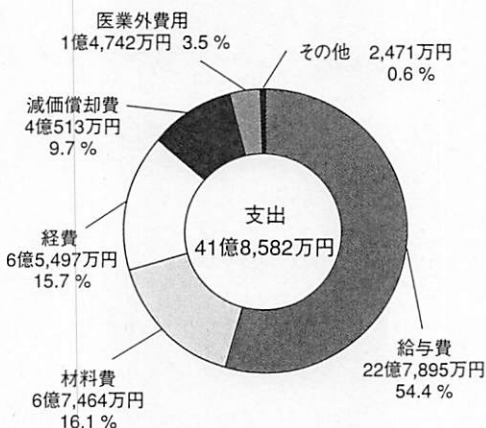
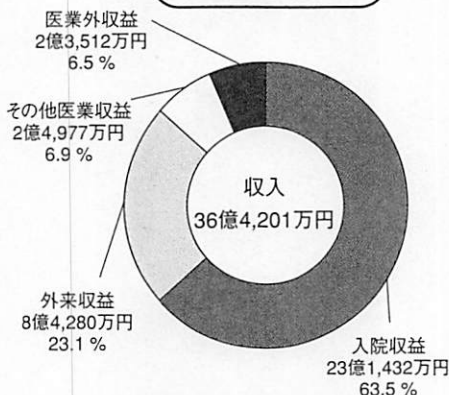
支出は、医業費用が材料費の減額などにより約463万円の減となり、対前年度比0.1%減。

差し引き、5億4,381万円の当年度純損失が生じ、前年度繰越欠損金4億7,306万円を合わせ、20年度未処理欠損金は、10億1,687万円となった。

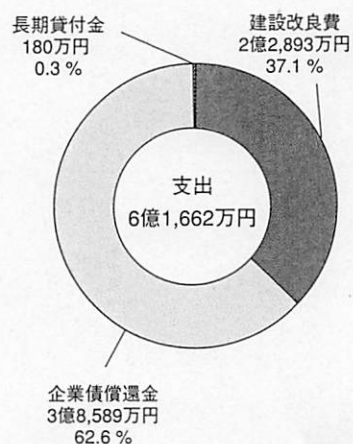
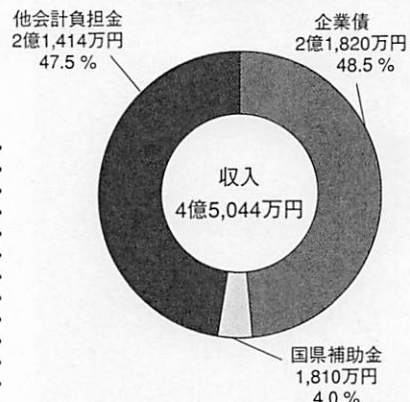
資本的収支

医療機器等の整備及び企業債の償還により収入不足額1億6,618万円が生じた。これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

収益的収支



資本的収支



水道事業

収益的収支

収入は、水道料金が有収水量の減少により、約2,680万円の減額となったのをはじめ、合計では約3,241万円の減額となり、対前年度3.1%減。

支出は、減価償却費等の増加により、約2,316万円の増額となり、対前年度2.4%増。

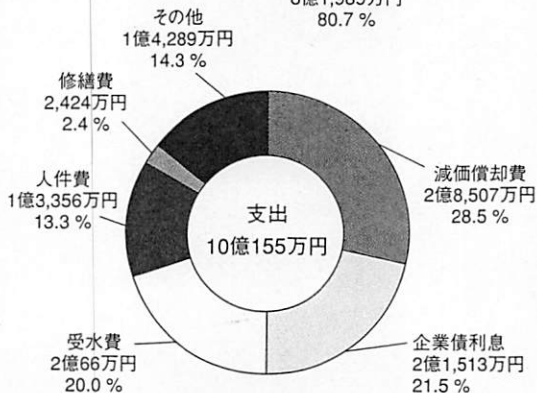
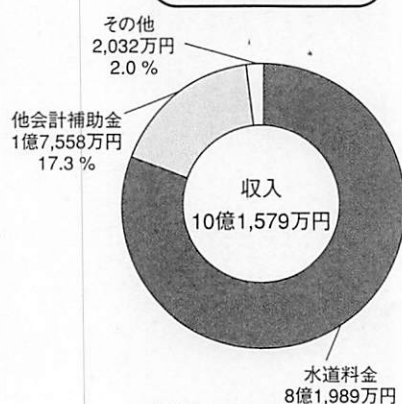
差し引き、1,424万円の当年度純利益となり、前年度繰越利益剰余金を加えた当年度未処分利益剰余金は、1億3,959万円となった。

資本的収支

建設改良事業では、23件の配水管新設工事等を実施、また企業債の償還により、収支不足額3億9,787万円が生じた。

これを当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんした。

収益的収支



資本的収支

